



Q1 会社の強みは何ですか？

A1 セールスプロモーションの会社として創業したこともあり、企画から制作・販促支援までワンストップ対応できることが当社の強みです。

Q2 将来の夢は何ですか？

A2 小ロットに対応できるECサイト運営もしていますが、将来的には個人ユーザーがその場で制作できるハンドメイド工房を作りたいですね。

代表取締役
佐藤 智裕 氏

《 信条 》
まずは実行すること！



ノベルティをメインに
様々なツールで販促支援

平成20年（2008年）に広告印刷などを手掛ける会社として創業した株式会社アーリークロス。その後、ノベルティの企画・制作に業務拡大し、現在はノベルティ制作をメインに様々な販促支援事業を展開している。特にECサイトによるノベルティ制作事業の成長は著しく、オリジナル形状の紙クリップを制作できる『激安クリップ王国』や『激安ふせん紙王国』、『激安メモ帳王国』などを展開。カレンダーやうちわなどのノベルティ制作を請け負う他、SPツールなども取り扱っている。

新たな展開を見据えた
オリジナルグッズの開発

これまで付箋やメモ帳などのノベルティを中心に事業を押し進めてきた同社だが、新たな展開として販売商品となるグッズの開発・制作

FILE.01

多彩なメニューで企業の販促を支援

を行うことにした。そこで注目したのが「筆箋」だった。

「近年、インバウンドの成長が著しく、2年後には東京オリンピックが控えています。当社では日本らしいお土産としてオリジナルグッズとなる一筆箋の開発に着手することにしました」と代表取締役の佐藤智裕氏。無料で配られるノベルティに比べ、グッズ商品は利益率が高くなるが、その分、高いクオリティが求められることになる。また、生産コストの低減も見据え、新たな機械



設備を導入することで一筆箋の商品開発を目指した。

高品質性の実現と
低コスト・短納期を両立

同社が導入したのは、断裁サイズを0.01ミリ刻みで設定できる最新断裁機と、台紙の一部だけに糊付け、表紙をくるむことができるカバールインダー。製品を作る上では表紙を本文用紙より0.5ミリほど縮小することにより、視覚的に表紙と本文用紙が揃って見える



ようになる。従来設備では誤差が発生することもあったが、精密な断裁が可能となった。また、カバーバインダーの導入により、側面80〜310ミリ、厚さ2〜10ミリにも対応できるようになり、短時間での高品質オリジナル一筆箋の生産が実現した。

グッズ商品生産の実現で
新たな販路拡大が可能に

和紙など紙を選ばず作ることができる一筆箋は、土産品として商品展開を開始。また、確立した技術はメモ帳への転用もできるため、オリジナルメモ帳を本格事業化する道筋も見えてきた。

「これまでノベルティ関連の展示会に出展していましたが、今回開発したオリジナルグッズ制作の技術により、音楽・スポーツ関連展示会や



土産品関係の商品受注に向けて積極的に動いて行きたいと考えています」と佐藤氏は今後の展望を語る。



株式会社アーリークロス

代表取締役／佐藤 智裕

所在地／宮城県仙台市宮城野区新田2-8-50

T E L／022-349-9371

事業テーマ

【28年度補正】
一筆箋のブランド化、自社制作工程の確立と
オリジナルメモ帳事業の本格化